

Magazine & Online

ダイヤモンド クォーターリー

MEDIA GUIDE

2022-2023

ダイヤモンド クォーターリー / DQオンライン媒体資料

INDEX

Magazine & Online

メディアコンセプト / 媒体概要	1P	広告協賛メニュー	11-13P
編集長挨拶	3P	掲載料金	14P
本誌読者属性	4-6P	オプション	15P
オンライン読者属性	7P	ウェビナー実績	16-21P
有識者インタビュー実績 (経営者)	8P	ポジショニングマップ	22P
有識者インタビュー実績 (アカデミズム)	9P	問い合わせ	23P
読者の声	10P		

媒体概要 (About DIAMOND Quarterly)

ダイヤモンド社が保有する法人データベース25万件の中から、東証プライム市場に上場する企業＋売上高400億円以上の非上場企業のCクラスを含む経営者および取締役・執行役員約20,000人を抽出し、個人名宛で直送する唯一無二のマネジメント誌です。

ダイヤモンドクォーターリーは、2013年にダイヤモンド社100周年記念事業として生まれ、3年後の2016年10月に現在の誌名、発行形態で創刊いたしました。

以降、日本を代表する経営者、アカデミズムなどのへのインタビューをはじめ、コンサルティングファームやITスペシャリストへの取材記事など、本質的で実践的なコンテンツを多数掲載しており、読者である経営マネジメント層から高い支持をいただいています。

また、近年は誌面とともにデジタル版の配信、オンラインでの展開、イベント開催などにも力を入れており、今後さらに読者とのリレーションや接点を強化していく予定です。

誌面版＋デジタル版

媒体概要 (詳細)

発行日 : 3月、7月、10月、12月発行 (年4回・季刊)

発行形態: コントロールドサーキュレーション (選ばれた読者のみに送付)

販売価格: 無料 ※電子版は880円 (税込) で販売

発行部数: 約55,000部 (雑誌20,000部 + デジタル版35,000部)



オンライン

イベント



編集長挨拶 (From Editor in Chief)

“日本的経営の再発見”をコンセプトに、21世紀にふさわしい日本的経営のあり方や、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

日本の産業界は戦後以降、積極的に欧米企業に学びその長所や特長を「選択的」に取り込みながら製品、事業、人材、経営そのものを進化させ、ついには「日本的経営」という世界に類を見ない独自のマネジメントシステムを確立しました。しかし、バブル経済崩壊後は自信喪失から日本的経営を否定し、経営のグローバルスタンダード化という名の下に欧米の経営理論や手法を安易に導入した結果、日本企業の強みが急速に失われてしまいました。

そもそも、国の歴史、風土、文化、社会規範、地政学的要因等が異なる以上、経営のグローバルスタンダードなど存在しえません。その象徴的存在としてよく紹介されるGE、P&G、フィリップス、シーメンスなどは、実のところ創業者の理念や価値観、発祥の地の歴史や文化を今なお大切にしており、それが彼らの強さの源泉となっています。

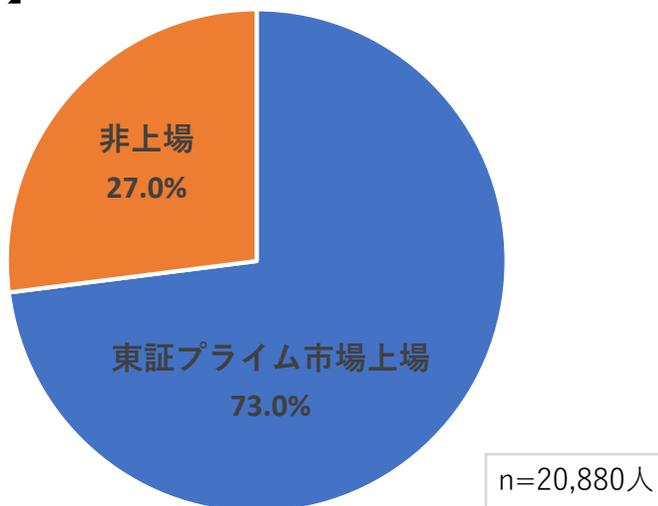
ダイヤモンドクォーターリーは、冒頭の「21世紀にふさわしい日本的経営の再発見。」を掲げ、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

ダイヤモンドクォーターリー
編集長 岩崎 卓也

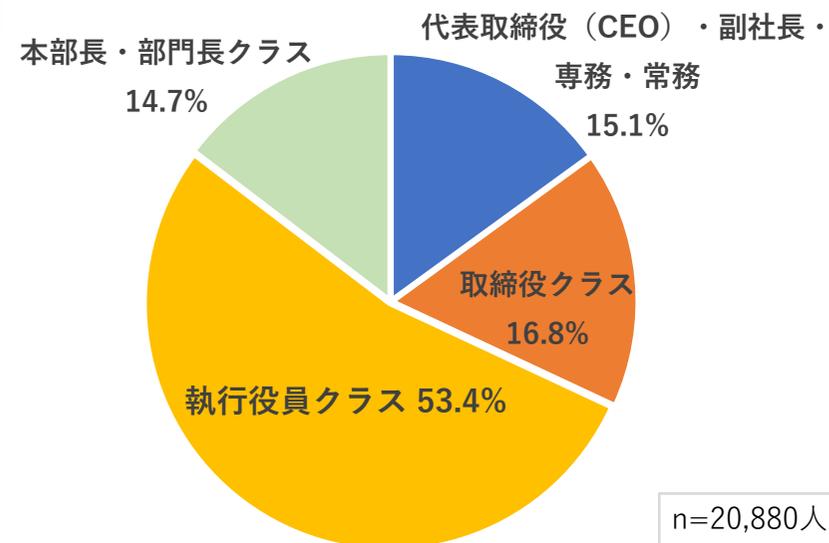
本誌読者属性① 上場区分／役職／売上／従業員規模 (User Profile)

※2022年夏号以降の配布先（特集内容により送付先が変更となる場合がございます）

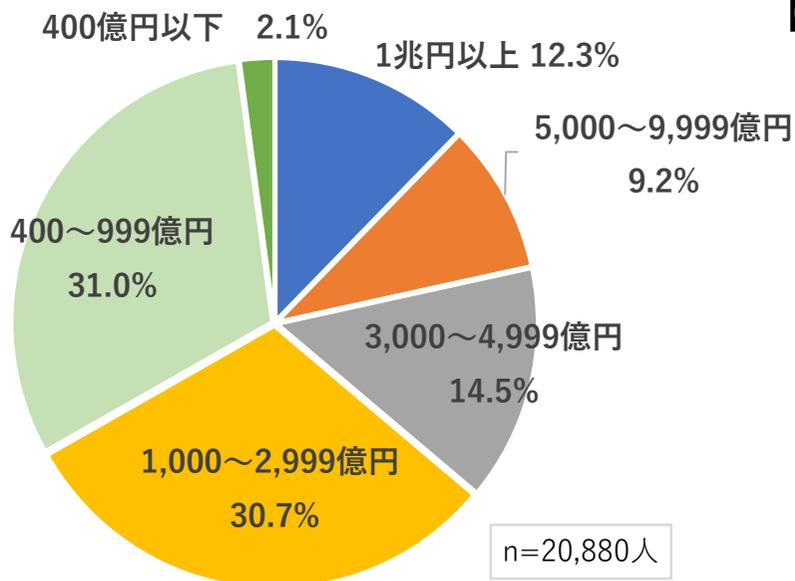
【上場区分】



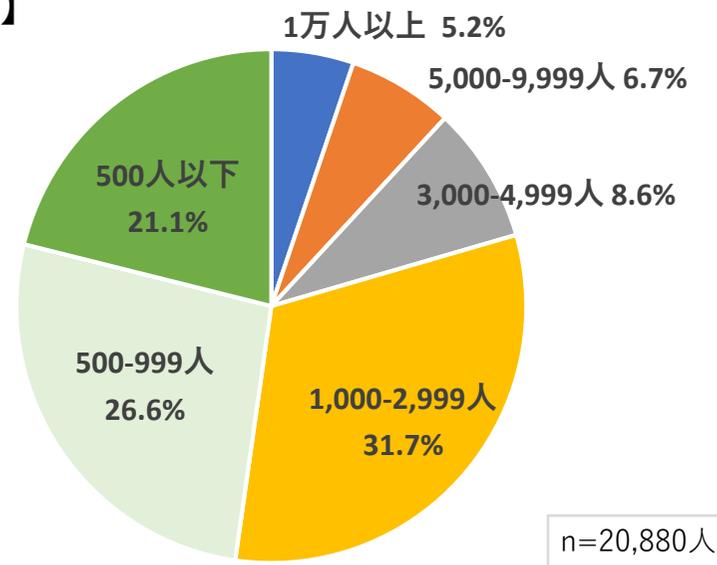
【役職】



【売上】



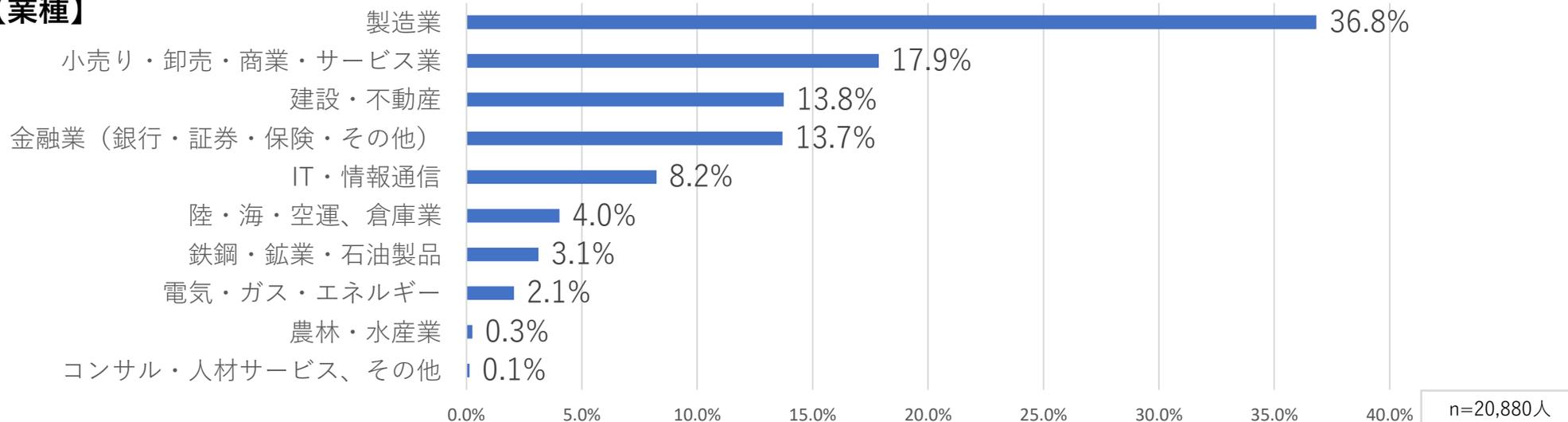
【従業員規模】



本誌読者属性② 業種 (User Profile)

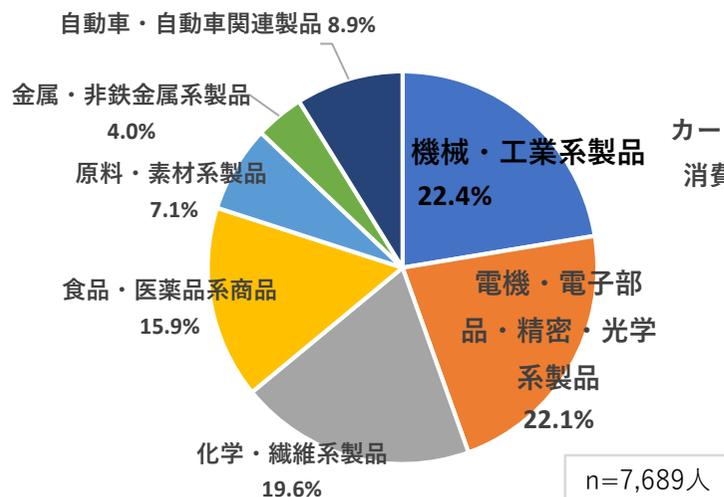
※2022年夏号のダイレクトメール配布先となります。
(特集内容により送付先が変更となる場合がございます)

【業種】

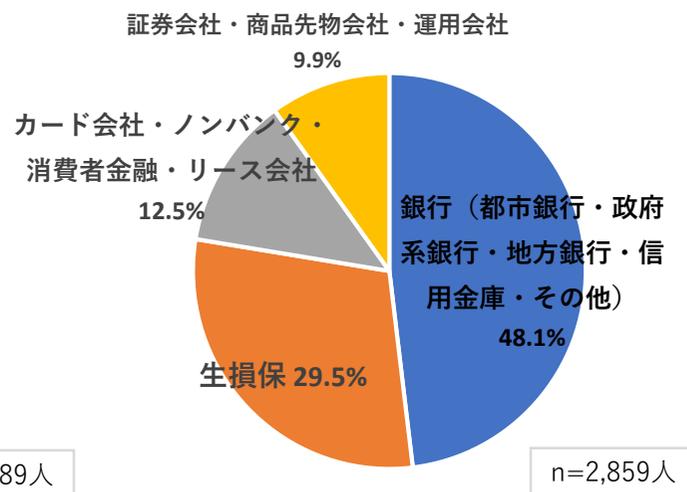


【業種内訳】

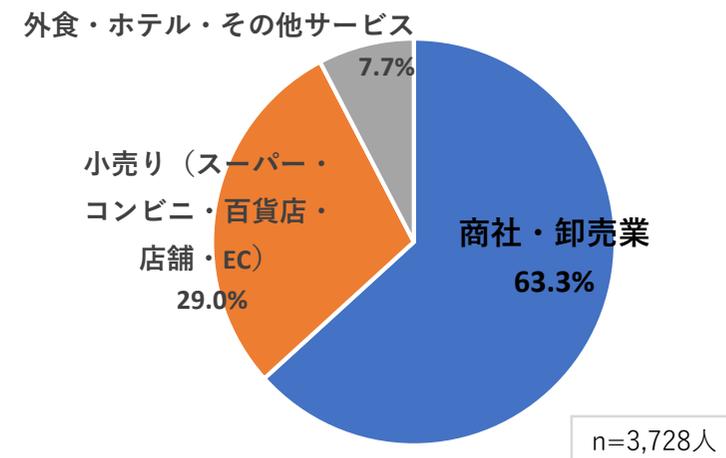
製造業内訳



金融業内訳

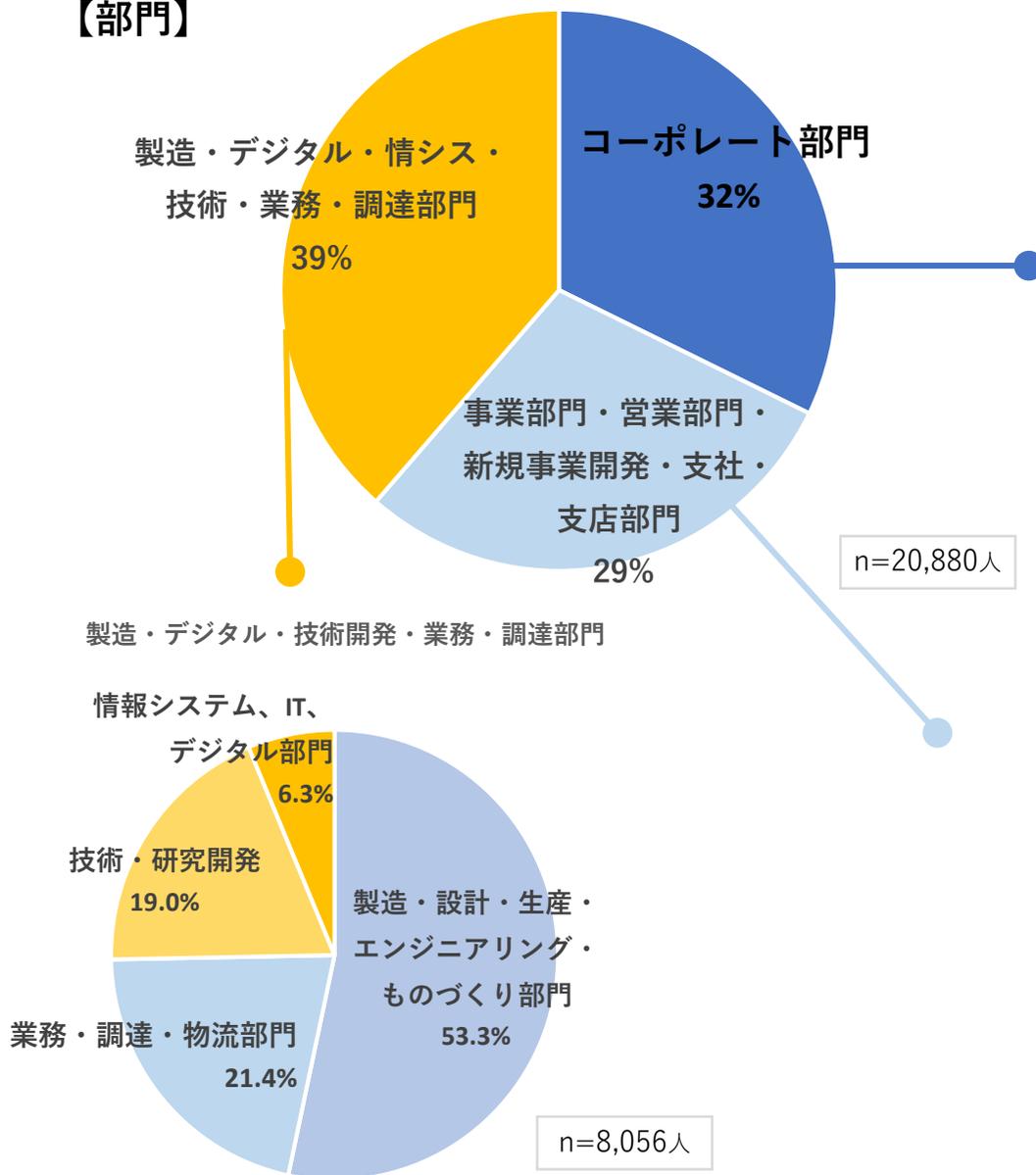


小売り・流通業内訳

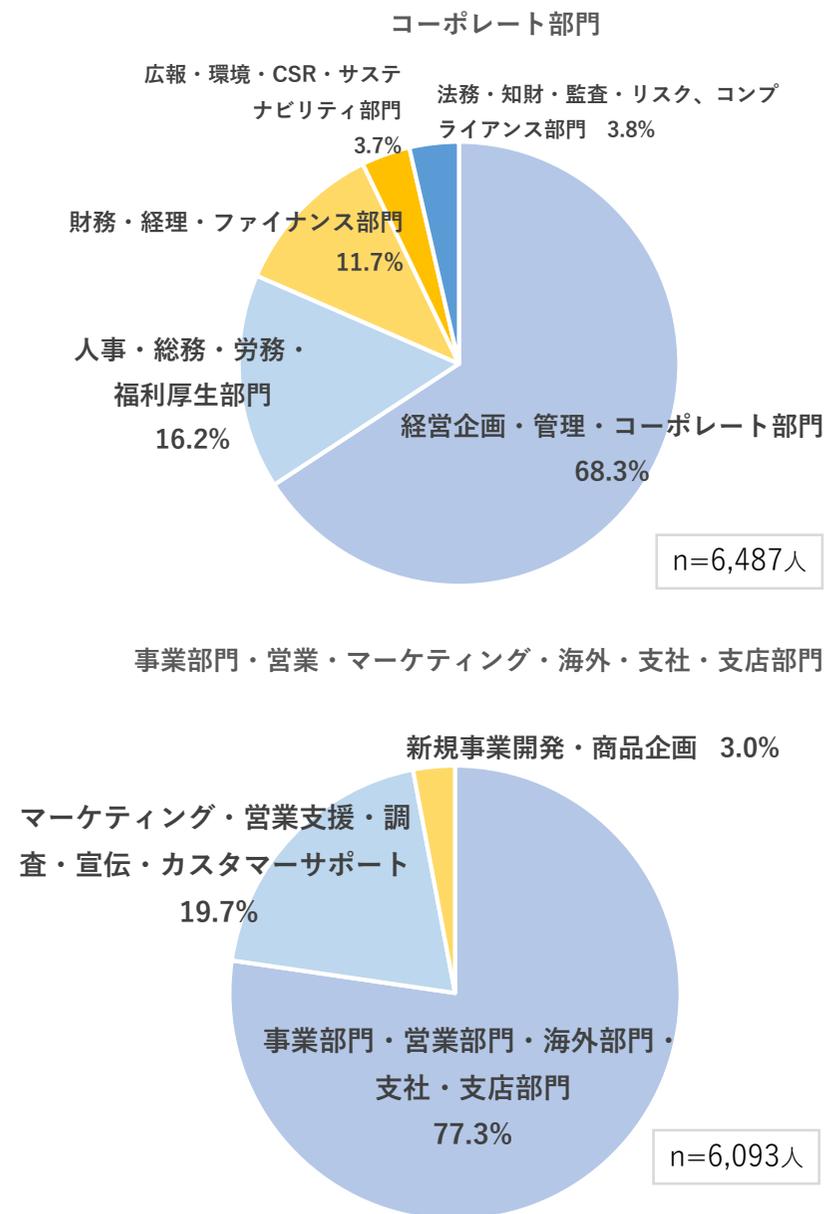


本誌読者属性③ 部門 (User Profile)

【部門】



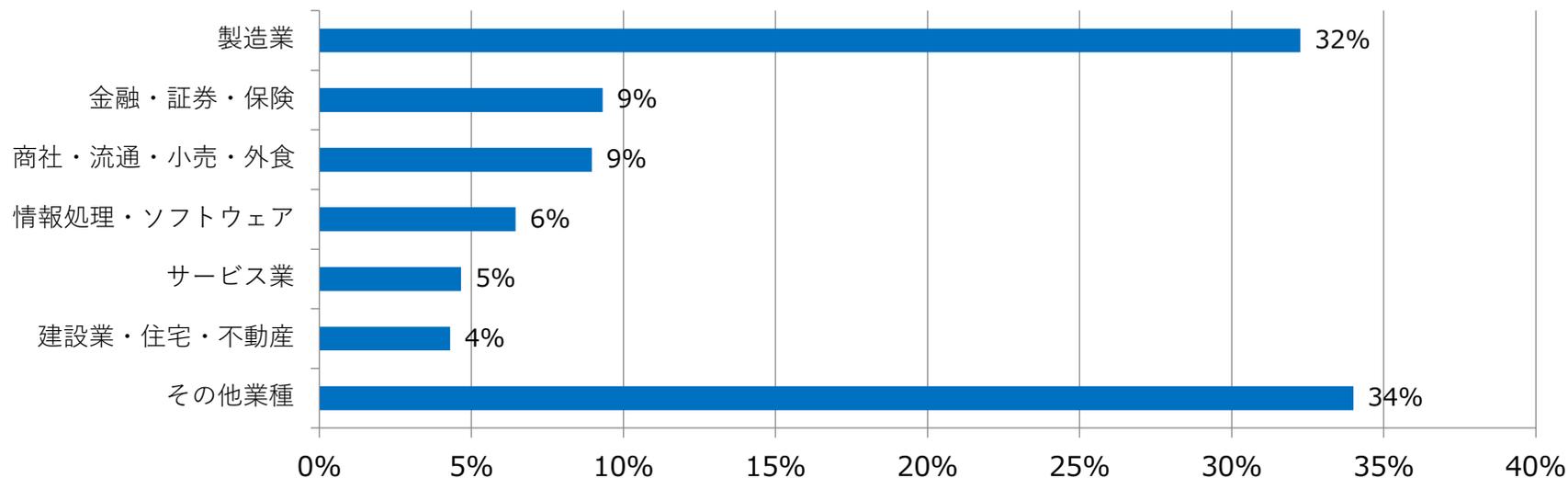
※2022年夏号のダイレクトメール配布先となります。
(特集内容により送付先が変更となる場合がございます)



デジタル版読者属性 業種／役職／従業員規模 (User Profile)

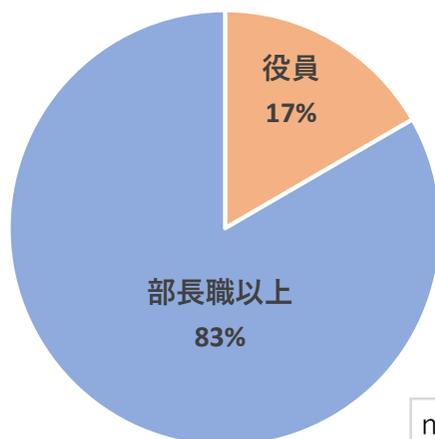
ダイヤモンド・オンライン、DHBR onlineに登録する企業規模1,000名以上、経営者・役員、部長格35,000通に配信。

【業種】



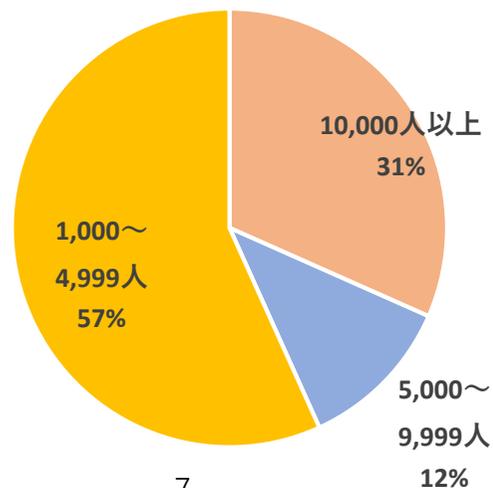
n= 34,722人

【役職】



n= 34,722人

【従業員規模】



n= 34,722人

※2022年夏号のダイレクトメール配布先となります。
※配信タイミングにより、
通数は変動する場合があります。

有識者インタビュー実績① 経営者 (Interviewee)

有馬浩二 (デンソー 代表取締役社長)
 安藤宏基 (日清食品ホールディングス CEO)
 魚谷雅彦 (資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
 牛尾治朗 (ウシオ電機 代表取締役会長)
 小野田 聡 (JERA 代表取締役社長)
 垣内威彦 (三菱商事 代表取締役社長)
 金川千尋 (信越化学工業 代表取締役会長)
 柄澤康喜 (MS&ADインシュアランスグループHD 取締役会長 会長執行役員)
 北尾裕一 (クボタ 代表取締役社長)
 久夛良木 健 (ソニー・コンピュータエンタテインメント 元会長)
 古森重隆 (富士フイルムホールディングス 代表取締役会長 CEO) 作田久男 (NTK セラミック 代表取締役会長)
 柵山正樹 (三菱電機 代表執行役 執行役社長)
 佐藤慎次郎 (テルモ 代表取締役社長CEO)
 澤田 純 (NTT 代表取締役社長)
 澤田道隆 (花王 代表取締役社長執行役員)
 鈴木 純 (帝人 代表取締役社長執行役員CEO)
 島野容三 (シマノ 代表取締役社長)
 谷本秀夫 (京セラ 代表取締役社長)
 玉川 憲 (ソラコム 代表取締役社長)
 津賀一宏 (パナソニック 代表取締役社長)
 土屋裕雅 (ベイシアグループ 代表取締役会長)
 津谷正明 (ブリヂストン 取締役 代表執行役CEO兼取締役会長)
 中田卓也 (ヤマハ 代表執行役社長)
 中山泰男 (セコム 代表取締役社長)
 新浪剛史 (サントリーホールディングス 代表取締役社長)
 西井孝明 (味の素 代表取締役 取締役社長 CEO)
 東 和浩 (りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長)
 東原敏昭 (日立製作所 取締役 代表執行役 執行役社長兼CEO)
 藤野道格 (ホンダ エアクラフト カンパニー CEO)
 堀場 厚 (堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO)

オムロン
 代表取締役社長
 山田 義仁 氏



堀場製作所
 代表取締役会長 兼
 CEO 堀場 厚 氏



サントリー
 代表取締役社長
 新浪 剛史 氏



松本正義 (住友電気工業 取締役会長)
 峰岸真澄 (リクルートホールディングス 代表取締役社長兼CEO)
 三村明夫 (新日鐵住金 相談役名誉会長 | 日本商工会議所 会頭)
 宮永俊一 (三菱重工業 取締役社長 CEO)
 村田恒夫 (村田製作所 代表取締役社長兼会長)
 山田匡通 (イトーキ 代表取締役会長)
 山田義仁 (オムロン 代表取締役社長)
 吉永泰之 (SUBARU 代表取締役社長)

有識者インタビュー実績② アカデミズム (Interviewee)

伊丹敬之 (国際大学 学長 | 一橋大学 名誉教授)
 伊藤友則 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授)
 岩井克人 (国際基督教大学 特別招聘教授)
 宇佐美英機 (滋賀大学 名誉教授)
 宇田川 勝 (法政大学 名誉教授)
 江川雅子 (一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授)
 老川慶喜 (跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授 | 立教大学 名誉教授)
 大湾秀雄 (早稲田大学 政治経済学術院 教授)
 加護野忠男 (甲南大学 特任教授 | 神戸大学 名誉教授)
 鹿島 茂 (フランス文学者)
 兼田麗子 (桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授)
 蒲島郁夫 (熊本県知事 | 東京大学名誉教授)
 川上浩司 (京都大学 情報学研究科 特定教授)
 川本裕子 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 橘川武郎 (東京理科大学 イノベーション研究科 研究科長)
 榊原清則 (慶應義塾大学 名誉教授)
 柴崎隆一 (東京大学大学院 工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授)
 末永國紀 (同志社大学 名誉教授 | 近江商人郷土館 館長)
 高倉弘喜 (国立情報学研究所 教授)
 高野陽太郎 (東京大学 名誉教授)
 名和高司 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授)
 沼上 幹 (一橋大学 副学長)
 野中郁次郎 (一橋大学 名誉教授)
 延岡健太郎 (一橋大学 イノベーション研究センター センター長/教授)
 平野雅章 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 藤田正勝 (京都大学 名誉教授)
 藤本隆宏 (東京大学大学院 経済学研究科 教授)
 本田由紀 (東京大学大学院 教育学研究科 教授)
 松田裕之 (神戸学院大学 経営学部 教授)
 三品和広 (神戸大学 経営学研究科 教授)
 森川博之 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)
 森本博行 (首都大学東京 名誉教授)

一橋大学 名誉教授
野中郁次郎



神戸大学 名誉教授
加護野忠男



東京大学 大学院
経済学研究科教授
藤本隆宏



湊 長博 (京都大学 総長)
 宮本又郎 (大阪大学 名誉教授)
 安田隆二 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任教授)
 山田英夫 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 横山禎徳 (東京大学EMPディレクター)
 米倉誠一郎 (法政大学 イノベーション・マネジメント研究科 教授)
 和田一夫 (東京大学 名誉教授)

読者の声 (Reader's Voice)

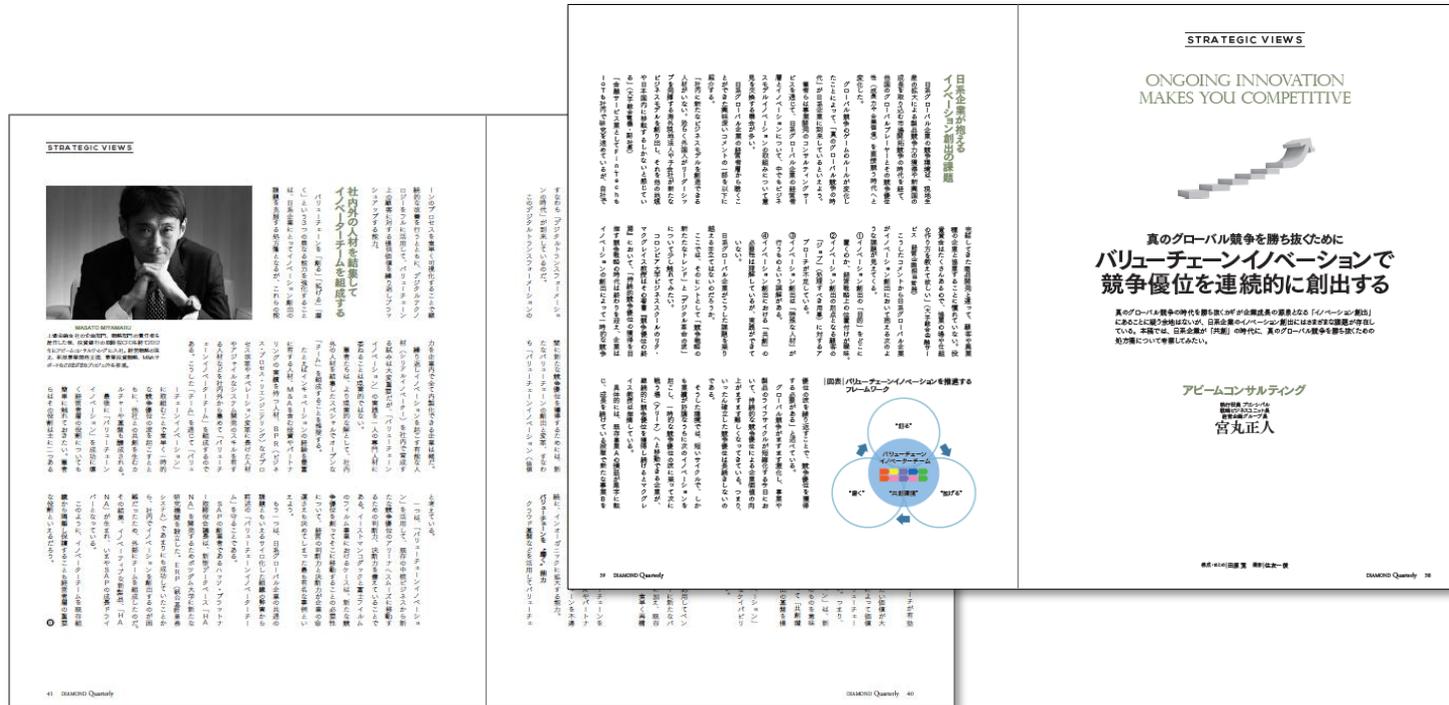
- # いつも、興味深い内容です。
- # 毎回楽しみに拝読しています。
- # 西欧的経営を良しとするのではなく、今こそ“日本的経営”を見直した新しいモデルをつくり出すべきだと思うので、とても切り口がおもしろいと思います。
- # よい記事が多く楽しみにしています。
- # 本誌内容とても充実していること実感しました。
- # 有益な情報多数有難うございます。
- # 非常に有益な記事が多く、いつも拝読しています
- # 今回は特に、非常に中身が濃く、読み応えがあったと感じました。
- # 毎号、大変参考になります。
- # 掲載されたコンテンツの素材が高品質で引き込まれた。紙面作りに落ち着きがあり読み易さに配慮を感じた。「日本の物作りの反撃」シリーズを続けていただきたい。
- # 中期的戦略を考える上でヒントが多数ある。
- # 1件の記事のボリュームが適切で、読みやすいです。登場いただく方に、フェローなどラインとは違った専門職の方もいらしても良いと思います。
- # 全編、あっという間に読んでしまいました。次号はどの様にして購入可能なのかが気になりました。
- # 本でメッセージを伝えるのと、逆に、読者側より感想または経験などを伝えるような場を作って欲しい。また、それを参考にしたい。
- # TALKING POINTSが新鮮で面白い。インタビューが核心を突いているからだと思われる。
- # AIの時代はもうすぐそこまできている 社内で活用できること、とりこめることがあると、いろいろ注視していかなければと思っていたところです。
- # 初めて読んだが基本的には製造業に対するデジタルイノベーション的推進記事が多いと感じるが、今後のIoT時代を迎え、サービス業の変化に伴う記事も読んでみたい。
- # 幅広い視点で、HBR本誌とは読み味が異なり新鮮且つ読み応えがある。ディスカッション形式に併せてインタビュー形式で深掘したテーマがあっても面白いのではないか。
- # いつもありがとうございます。弊社でも社長をはじめ経営陣で回覧講読をさせていただいています。
- # 興味を持てる記事が多いです。

※ 読者アンケートよりフリーアンサーの一部を抜粋

広告協賛メニュー① 誌面 (Magazine AD)

■編集コラボレーション (4ページ〜)

協賛企業様と編集部がコラボレーションし、誌面を制作するメニューです。その分野のプロフェッショナルの立場から、大所高所からの提言やサーベイの解説などを通じて、貴社や協賛企業様の知見を読者に伝えていただきます。インタビュー形式、対談、寄稿なども可能です。



- ※記事の性質上、スポンサー様の直接的な宣伝要素は掲載いただけません。
- ※スペースは4ページから承ります（連載の場合は1ページから可）。
- ※文字数は1,600-2,000字程度/ページ
- ※誌面内に、制作：ダイヤモンドクォーターリー編集部クレジットが入ります（問い合わせ等は入りません）。
- ※料金などの詳細は14ページ参照ください。

広告協賛メニュー② 誌面 (Magazine AD)

■ 広告タイアップ (2ページ～)

製品やサービスなど、協賛社様の訴求されたい内容を記事体でPRいただけるメニューです。
インタビュー形式や対談なども可能です。

誌面タイアップ例



※スペースは2ページから承ります。

※文字数は800-1,000字/ページ

※誌面内に、協賛社様ロゴ、問い合わせ、制作クレジット（制作：ダイヤモンド社ブランドコンテンツチーム）が入ります。

※料金などの詳細は14ページを参照ください。

広告協賛メニュー③ オンライン (Online AD)

■ 広告雑誌タイアップ転載

雑誌で掲載した内容をオンラインでも展開し、リーチを広げます。

DQオンライントップ



タイアップページ



DOL、DHBR online



※掲載内容は誌面と同様です。

※誘導はDQオンライントップおよびダイヤモンド・オンライン、DHBR onlineより行います。

※ご要望により、オンライン単独での掲載も承ります。

※料金などの詳細は12ページを参照ください。

※二次利用（広告主サイトからのリンク）についてはお問い合わせください。

雑誌掲載料金 (Magazine-Advertising Fee)

■編集コラボレーション(編集タイアップ)

<スポット料金>

ページ数	料金
4ページ	3,800,000円
6ページ	5,400,000円
8ページ	6,800,000円

<年間(複数回)料金>

ページ数	料金 (2回/年)	料金 (3回/年)	料金 (4回/年)
2ページ	3,800,000円 (@1,900,000円)	5,400,000円 (@1,800,000円)	6,800,000円 (@1,700,000円)
4ページ	6,650,000円 (@3,325,000円)	9,450,000円 (@3,150,000円)	11,900,000円 (@2,975,000円)

■広告タイアップ

<スポット料金>

ページ数	料金
2ページ	2,000,000円
4ページ	4,000,000円
6ページ	6,000,000円

■純広告 (AD)

ページ数	料金	サイズ (天地×左右)
表4	1,300,000円	260×190mm
表2	1,000,000円	280×210mm ※
表3	900,000円	280×210mm
見開き2ページ	1,800,000円	280×420mm
1ページ	900,000円	280×210mm

※表2見開も可能です。

※原稿は協賛社様にてご用意ください。

【特記事項】

- ・上記料金は全て税抜き価格です。
- ・タイアップ費用には取材・制作費を含みます。
(遠方の場合は交通費別途。有識者を起用する場合は、別途料金が発生する場合がございます)

オプション料金 (Option Fee)

■オンライン掲載 (転載)

ページ数	料金	保証PV
2ページ	700,000円	2,500PV
4ページ	1,400,000円	6,000PV
6ページ	2,100,000円	10,000PV

※オンライン単独掲載も承ります。
※二次利用についてはお問い合わせ下さい。

■抜き刷り

部数	4ページ		6ページ		8ページ		10ページ	
	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価
1,000部	350,000円	0	368,000円	0	384,000円	0	416,000円	0
1,000部以上	350,000円	15	368,000円	23	384,000円	26	416,000円	36
5,000部	410,000円	14	460,000円	21	488,000円	23	560,000円	32
10,000部	480,000円	12	565,000円	20	603,000円	22	720,000円	30

■誌面PDF (コンテンツ二次利用)

誌面、オンラインに掲載したコンテンツをに次利用いただくことが可能です。

- 利用料金：100,000円／ページ
- 利用期間：ご利用開始日から1年間
- 使用範囲：自社ホームページ、イントラネットでの掲載に限ります。
※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

■同梱サービス

DQ本誌送付にあわせ、貴社パンフレット、広報誌、セミナーチラシなどの同梱が可能です。

- 料金：1,500,000円
- 通数：20,000通
- 実施規定：
 - ・本誌に原則1,000,000円以上ご出稿がある協賛社様
 - ・1号につき4社まで（ダイヤモンド社の制作物は除く）
- 同梱規定：
 - ・サイズ…A4サイズまで、重量…50g以内、厚さ5mm以内

<封筒>



<抜き刷り>



※上記料金は全て税抜き

ウェビナー実績① (Webiner Achievement)

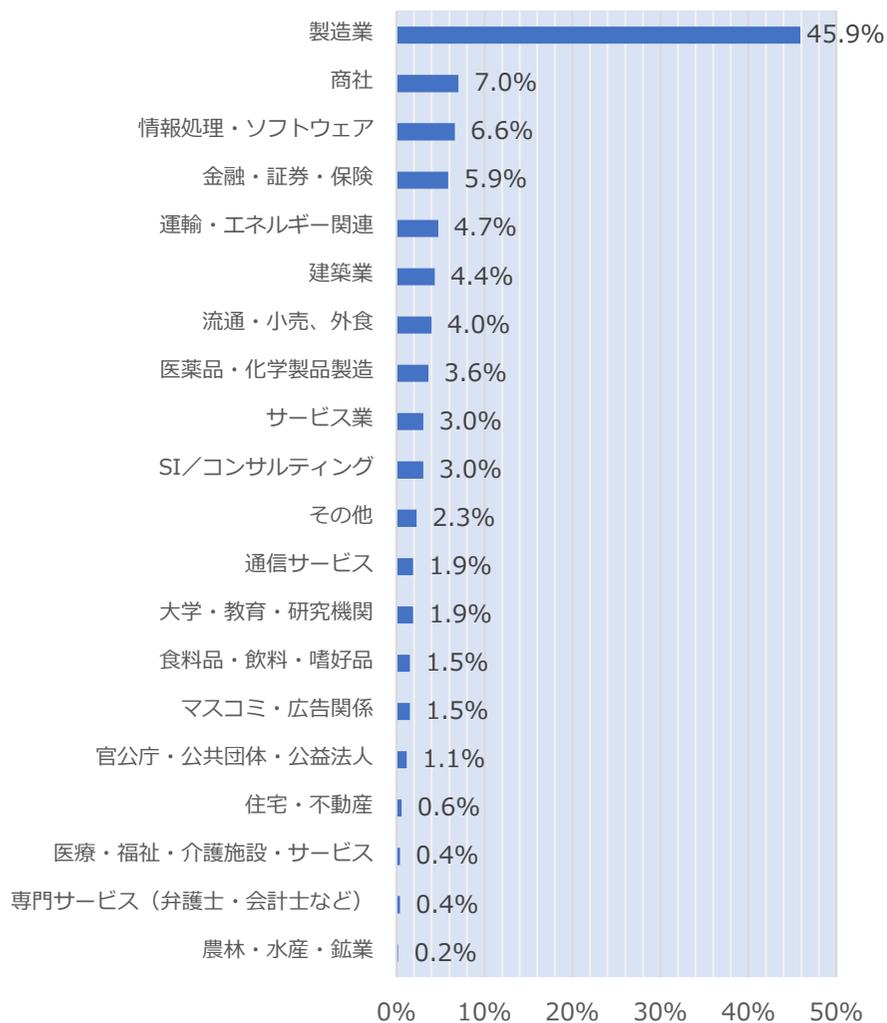
■ DIAMOND Quarterlyフォーラム第1弾 創刊5周年記念フォーラム DXその先へX経営の時代

名称	ダイヤモンドクォーターリー創刊5周年記念フォーラム DXその先へ X経営の時代 ～限界なき変革と新規事業の創造～	14:30～ 15:00 (30分)	◆協賛講演②「Low Code without limits 組織内にレジリエンスを構築する文化をもたらすローコード」 Claris International Inc. 最高責任者 (CEO) ブラッド・フライターグ BRAD FREITAG 氏
主催企画	ダイヤモンド社 ビジネスメディア局	15:00～ 15:30 (30分)	◆協賛講演③「近未来の企業経営において デジタル技術とヒトに求められるものとは？」 オートメーション・エニウェア・ジャパン カントリーマネージャー 由井 希佳 氏
協賛	PwC Japan/PwC コンサルティング Apple Japan, Claris (Claris International) オートメーション・エニウェア・ジャパン セールスフォース・ドットコム Tableau	15:30～ 16:00 (30分)	◆協賛講演④「変革の時代のデータドリブンな意思決定 持続可能な競争優位性のために」 セールスフォース・ドットコム Tableau カントリーマネージャー 佐藤 豊 氏
日時	2021年10月27日 (水) 13:00 ～ 17:30		
視聴	Webセミナー		
受講料	無料 (事前登録制/抽選)		
事前登録者数	527名		
13:00～ 14:00 (60分)	◆基調特別対談「日立が目指すパーパス経営の本質」 日立製作所 取締役代表執行役 執行役会長兼CEO 東原 敏昭 氏 一橋大学ビジネススクール 客員教授 名和 高司 氏	16:00～ 17:20 (80分)	◆パネルディスカッション「大企業における新規事業開発 ～社内イノベーターをいかに育成するのか～」 〈モデレーター〉 東京大学大学院経済学研究科 特任教授 半田 純一 氏 ＜＜パネリスト＞＞ 一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授 江川 雅子 氏 ソニーグループ 常務 AIロボティクスビジネス担当 AIロボティクスビジネスグループ 部門長 川西 泉 氏 パナソニック 代表取締役 専務執行役員 樋口 泰行 氏
14:00～ 14:30 (30分)	◆協賛講演①「不確実な時代を勝ち抜く 「俊敏な企業経営」実現のポイント」 PwCコンサルティング合同会社 パートナー クラウドトランスフォーメーション リーダー PwC Japanグループ データアナリティクス/AI Labリーダー 中山 裕之 氏	17:20	アンケート記入・閉会

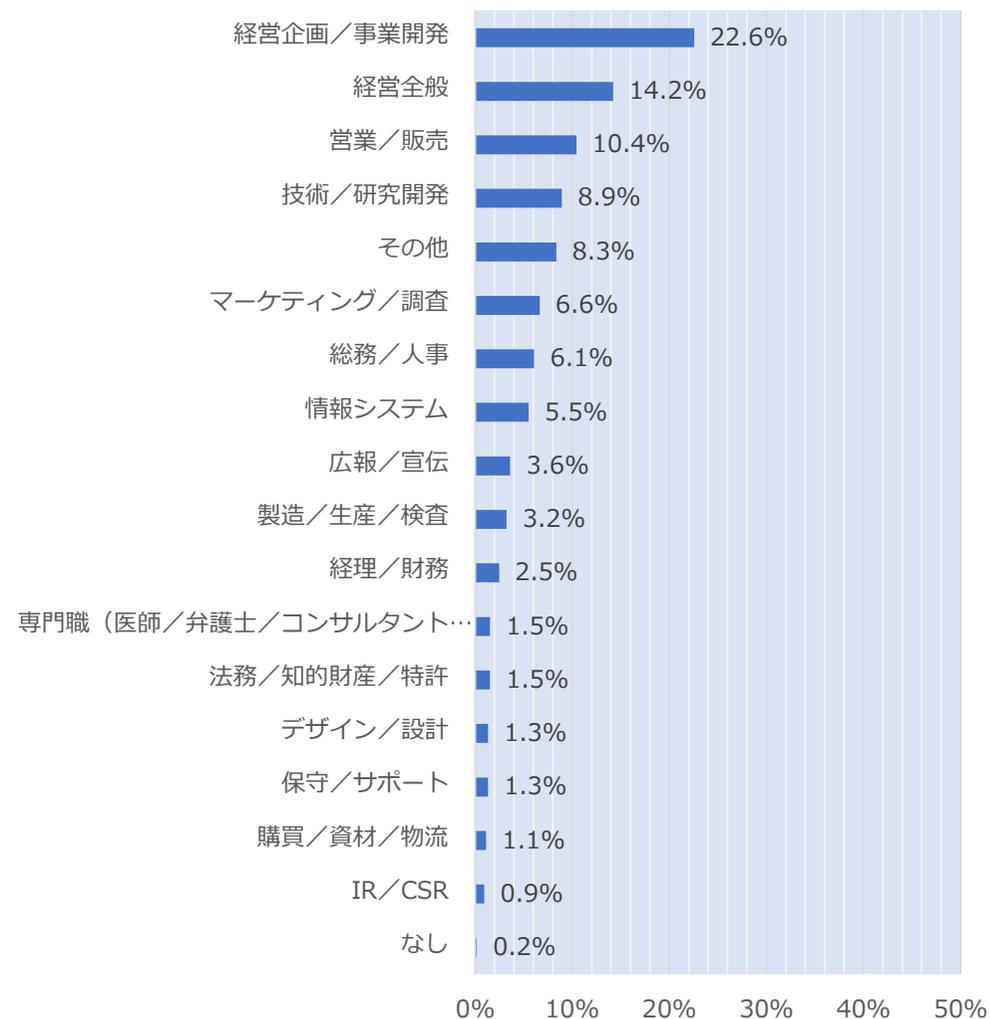
ウェビナー実績① (Webiner Achievement)

■ DIAMOND Quarterlyフォーラム第1弾 創刊5周年記念フォーラム DXその先へX経営の時代

【業種】



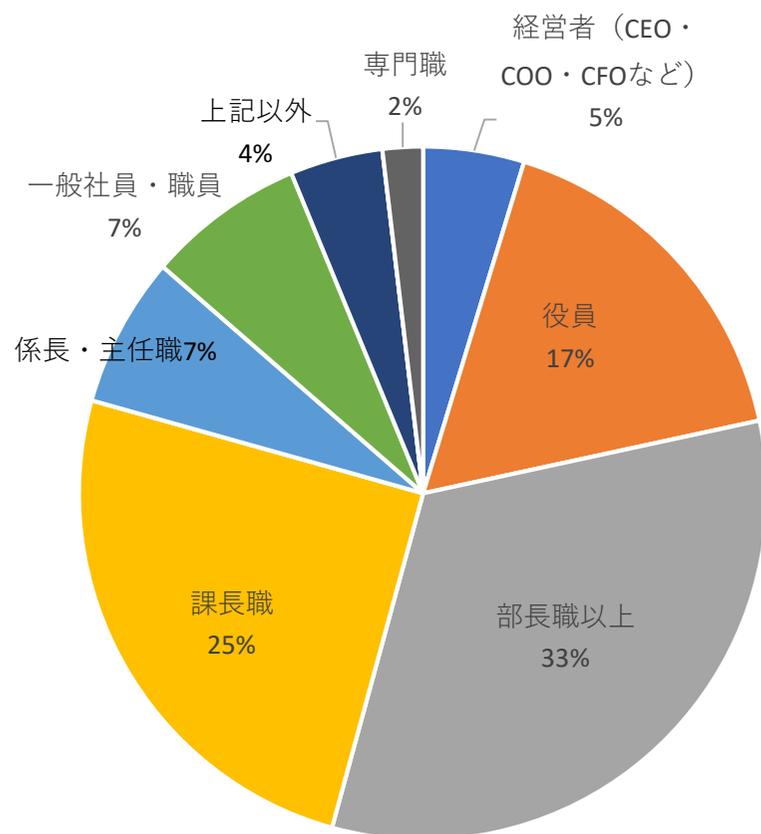
【職種】



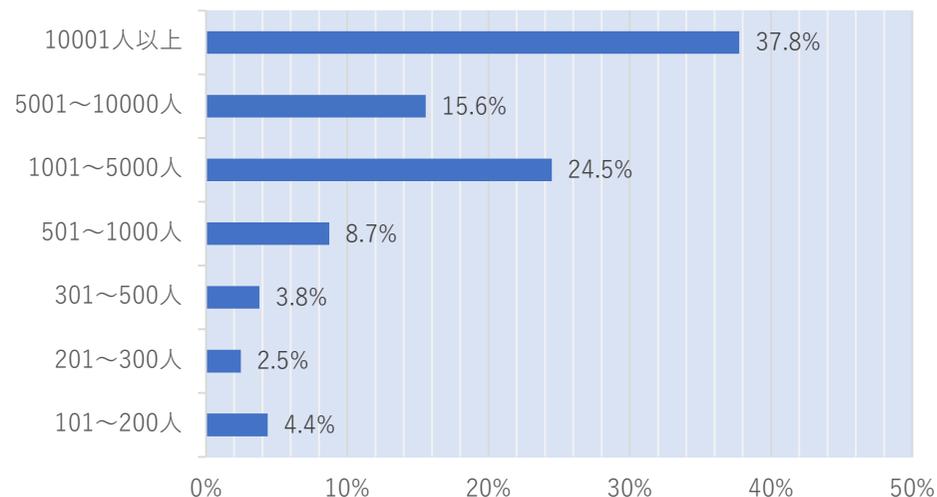
ウェビナー実績① (Webiner Arhievement)

■ DIAMOND Quarterlyフォーラム第1弾 創刊5周年記念フォーラム DXその先へX経営の時代

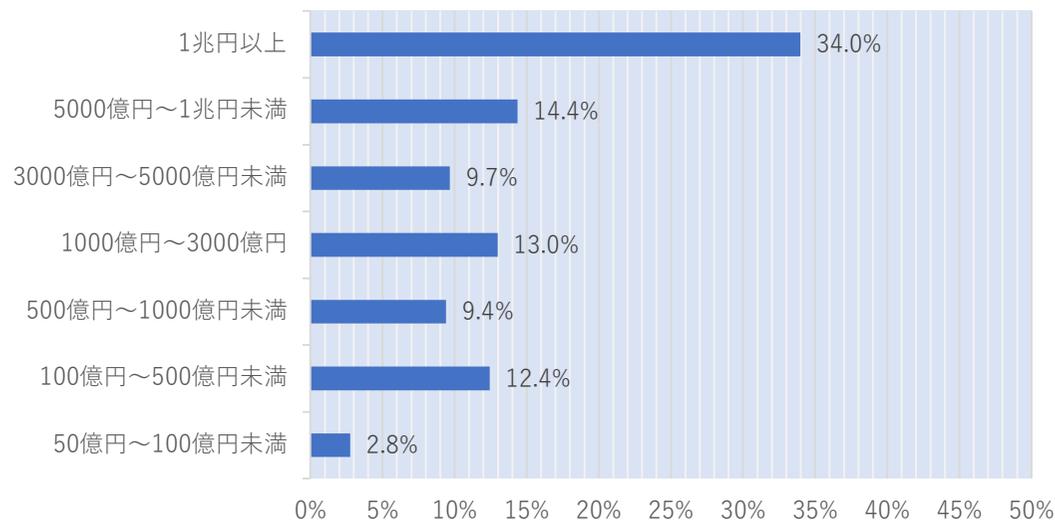
【職種】



【従業員規模】



【売上規模】



ウェビナー実績② (Webiner Achievement)

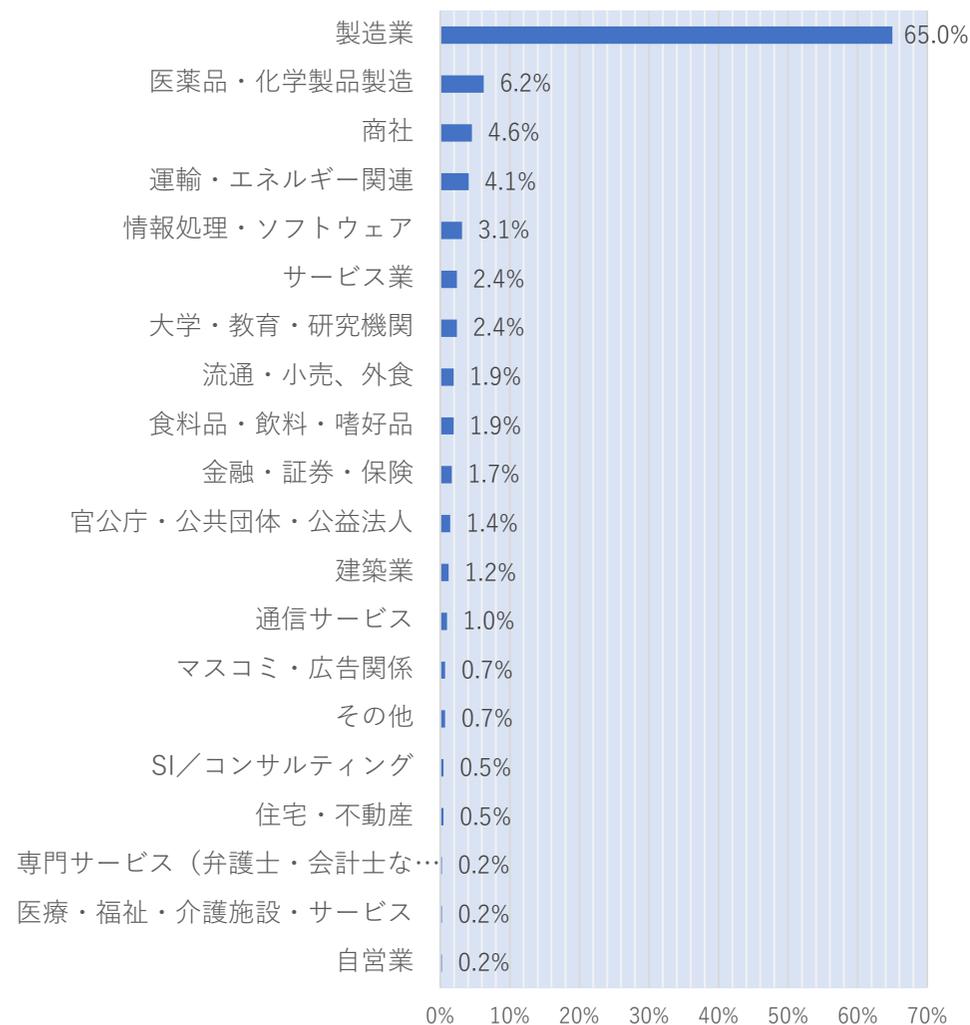
■DIAMOND Quarterlyフォーラム第2弾 日本型「製造業DX」 人間とAI・デジタル技術の共進化

名称	ダイヤモンドクォーター5周年記念フォーラム 第2弾 日本型「製造業DX」 人間とAI・デジタル技術の共進化		
主催企画	ダイヤモンド社 ビジネスメディア局		
協賛	ジェンパクト アビームコンサルティング セールスフォース・ジャパン 東京ガス		
日時	2022年3月3日 (木) 13:00-18:00		
視聴	Webセミナー		
受講料	無料 (事前登録制/抽選)		
事前登録者数	417名		
13:00~ 14:15 (75分)	◆基調講演「ヒューマナイジング・ストラテジー」 一橋大学 名誉教授 野中 郁次郎 氏		
14:15~ 14:45 (30分)	◆協賛講演①「先進事例からひも解く勝つためのDXとは」 ジェンパクト 代表取締役社長 グローバルシニアバイスプレジデント 田中 淳一 氏		
14:45~ 15:15 (30分)	◆協賛講演②「製造業の新しい顧客価値を創造する「考える組織」」 アビームコンサルティング執行役員 プリンシパル デジタルテクノロジービジネスユニット DXIセクター長 橘 知志 氏		
15:15~ 15:45 (30分)		◆協賛講演③「製造業DX：進むべき方向性とその手段 - The new CASE loop for Manufacturing -」 セールスフォース・ジャパン 常務執行役員 ソリューション・エンジニアリング統括本部 製造ソリューション本部 本部長 兼 関西・韓国リージョン担当 高野 忍 氏	
15:45~ 16:15 (30分)		◆協賛講演④「東京ガスならではのデジタルエコシステムと価値共創への挑戦」 東京ガス エネルギーソリューション本部 ソリューション共創部 部長 清水 精太 氏 エネルギーソリューション本部 ソリューション共創部 Joy事業 グループマネージャー 浦田 昌裕 氏	
16:15~ 17:45 (90分)		◆パネルディスカッション「日本のものづくりと製造業の未来」 [パネリスト] コマツ 特別顧問 野路 國夫 氏 東芝 執行役上席常務 CDO 島田 太郎 氏 早稲田大学 教授 藤本 隆宏 氏 [モデレーター] 東京大学大学院 経済学研究科 教授 経営教育研究センター長 新宅 純二郎 氏	
17:45			アンケート記入・閉会

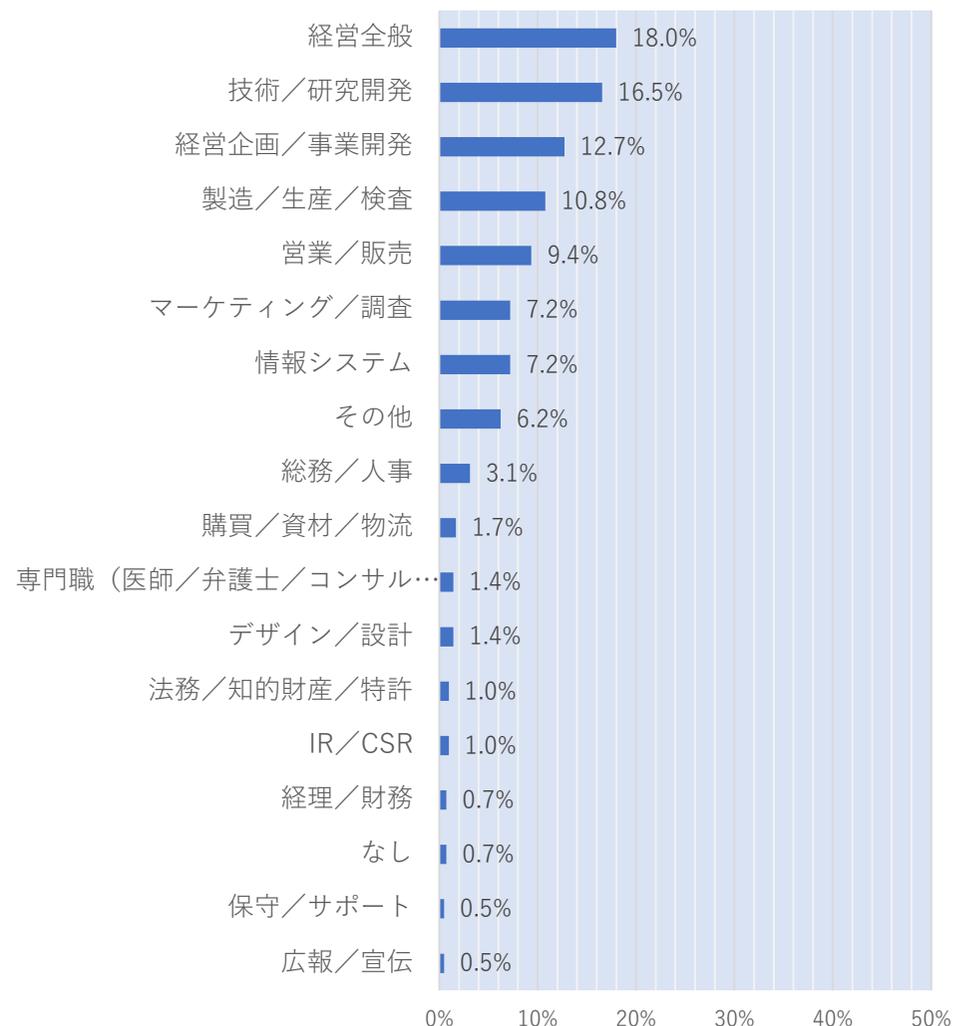
ウェビナー実績② (Webiner Achievement)

■ DIAMOND Quarterlyフォーラム第2弾 日本型「製造業DX」 人間とAI・デジタル技術の共進化

【業種】



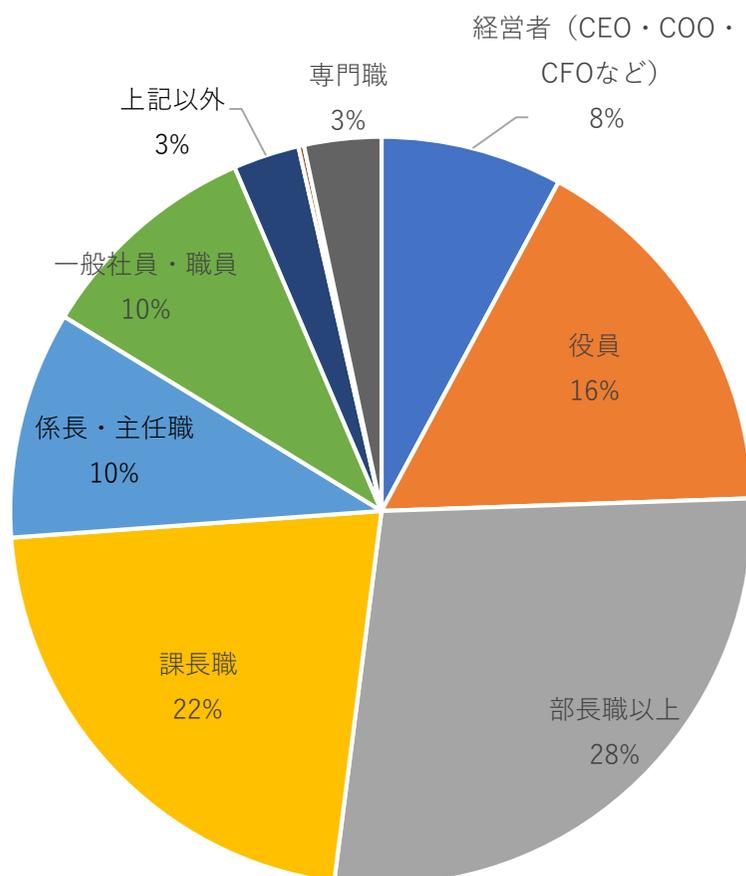
【職種】



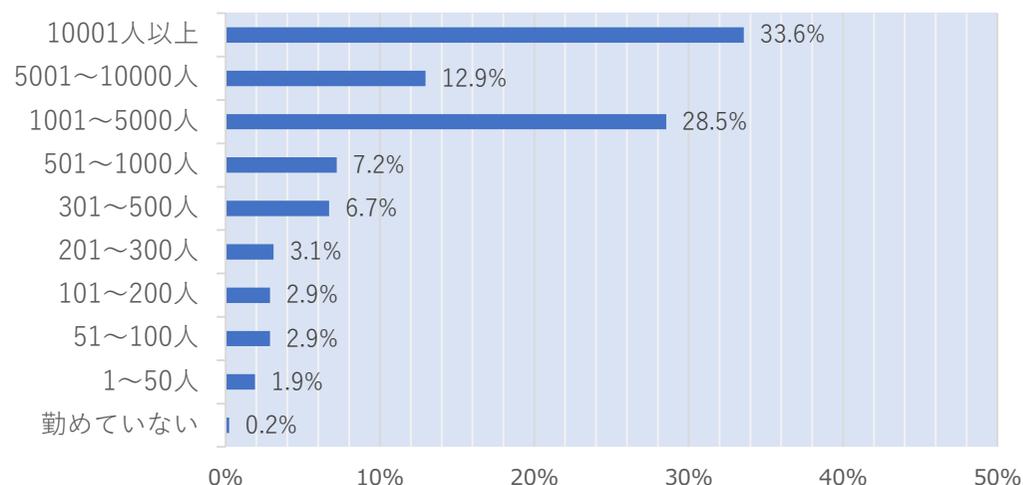
ウェビナー実績② (Webiner Achievement)

■ DIAMOND Quarterlyフォーラム第2弾 日本型「製造業DX」 人間とAI・デジタル技術の共進化

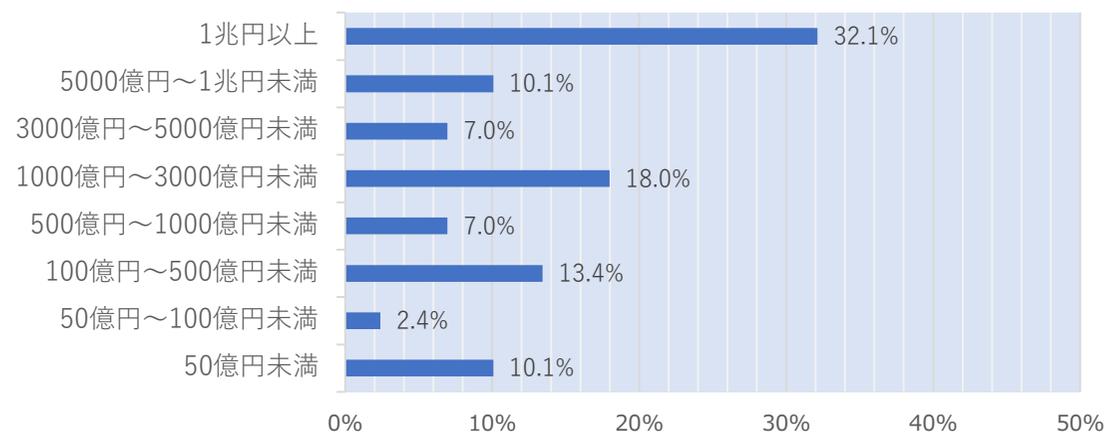
【職種】



【従業員規模】



【売上規模】



ポジショニングマップ (Positioning Map)

ダイヤモンド クォーターリー

※雑誌21,000部+デジタル版35,000部

【役職】

高い

低い

学術

【用途】

実用



週刊ダイヤモンド
65,000部

100年以上の歴史を誇るビジネス週刊誌。独自の視点での特集記事がビジネスパーソンに支持を受けている。

DIAMOND・
ハーバード・ビジネス・レビュー
20,000部

米ハーバード・ビジネス・スクールの教育理念に基づき創刊された世界最古のマネジメント誌HBRの日本版。2016年に創刊40周年を迎えた。

ドラッカーやマイケルポーターなど世界最高峰の経営学者の寄稿論文、トップマネジメントへインタビューはマネジメント層から絶大な支持を得ている。

広告・その他問い合わせ先 (Contact Us)

株式会社 ダイヤモンド社 ビジネスメディア局

ソリューション営業部／メディア営業部

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

TEL : 03-5778-7220

E-mail : info-dq@diamond.co.jp